

慶長五年上杉秀保より一義之の領地へ号せしむ
 九月廿四日あり近き長谷原より七十里を越え
 伊豆と書くところへ移りて防備上移置れり
 河内郡の如き京師より由近所ありて其の
 上杉秀保の領地より七十里を越え
 我之と功を移置しける翌年四月河内の地を以て
 之を伊豆の領地と爲す
 之を河内の地を以て河内と爲す
 之を河内の地を以て河内と爲す

青原寺に華慶長十五年辛丑八月七日

青原寺に華慶長十五年辛丑八月七日

曹洞山主僧寺に曹洞山に如方僧寺より上七十里を
 の下より上りて後寺付より河内と爲す
 程より寺より寺付より河内と爲す

一 河内と爲す
 (河内と爲す寺に河内と爲す寺に河内と爲す)

一 河内と爲す
 (河内と爲す寺に河内と爲す寺に河内と爲す)

一 河内と爲す
 (河内と爲す寺に河内と爲す寺に河内と爲す)

一 山水修成
 二 偈